

旧ソ連 核実験場（ポリゴン）

ポリゴンとは、1991年に旧ソ連邦から独立したカザフスタン共和国の北東に位置する核実験場。その面積は四国と同じぐらいの面積を占めている。セミパラチンスク核実験場では、地上実験が26回、空中で87回、地下で346回、合計459回の核実験が秘密裏に1949年から1989年の40年間行われた。その結果、セミパラチンスク核実験場近郊には50万人ともいわれる被曝者（第1世代から第4世代）が現在でも存在する。

1949年8月29日（11時）に当時のソ連政府によって、第1回核実験が行われ、これを機に米ソの核軍拡競争が始まった。1989年10月19日が最後の実験となった。

1991年8月29日に市民の反対運動により核実験場は閉鎖された。

1993年に核実験場周辺住民のヒパクシャを保障する法律が制定された。被害程度にIからIVのゾーン分けがなされている。

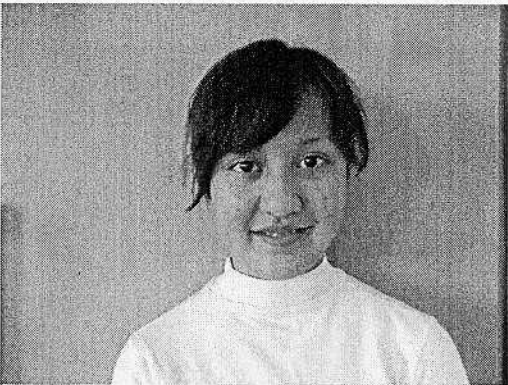
2008年の訪問時にはカザフ放射線医学環境研究所を中心に被曝者のデータベース化が進められていた。現地医療者によると第4世代まで医療費の無料化が図られつつあるとの事であった。

2009年3月21日 中央アジア非核地帯条約が発効しました。

カザフスタン留学生紹介 第1期生、第10期生（15人目、16人目）



リヤイリヤ・カイルハノワ 第10期生
1991年12月15日生 17歳
山陽女学園高等部1年
09年4月から10年3月まで
特技 日本語、ダンス、ドンブラ演奏。



マリカ・ケリムバエワ 第10期生
1994年3月28日生 15歳
山陽女学園高等部1年
09年4月から10年3月まで
特技 新体操、ダンス、絵、日本語。
新体操大会で多数回上位入賞。



アケルケ・スルタノワ 第1期生
1983年6月6日生 25歳
09年4月から 一ツ橋大学 大学院生
日本文部科学省 国費留学生
セメイ市から広島への最初の高校生留学生
(2000年に山陽女学園1年間留学)
カザフスタン日本大使館勤務後、再度日本へ留学
現在 日本のTVの取材番組に同行通訳など務めている。夢である両国の架け橋となって活躍中
特技 歌、日本語、ロシア語、カザフ語、英語